

IoT プラットフォーム「Mixtoria」を構築
モビリティ領域の知見とデータを生かし、ソリューションの創出を加速



「Mixtoria」ロゴ

三菱電機モビリティ株式会社（代表取締役 取締役社長 田中和徳、本社：東京都千代田区）は、自動車機器や各種コンポーネントなどから得られるモビリティデータを収集・分析し、ソリューションの創出を支える IoT プラットフォーム「Mixtoria（ミクストリア）」を構築しました。

モビリティ産業では、電動化や知能化に加え、機能や価値をソフトウェアによって継続的に進化させるソフトウェア・デファインド化が加速しています。これに伴い、自動車をはじめとするモビリティは、社会とつながり、データを生成・活用する「移動するデータ端末」へと変わりつつあります。

こうした変化を捉え、当社は、従来の自動車機器の供給に留まらず、データを活用しながら継続的に価値を提供するソリューション事業へとビジネスモデルを広げていきます。その実現に向けて、当社は、モビリティデータを活用したソリューションの創出を支える IoT プラットフォーム「Mixtoria」を構築しました。その名称には、自動車メーカーやモビリティ関連事業者などのパートナーとの「混ざり合い（Mix）により、モビリティ（Mobility）の歴史を築く（Historia）」という想いを込めています。

「Mixtoria」を通じて、共創パートナーが保有するデータを、当社製品から得られるデータや知見と組み合わせ、人やモノの移動に新たな価値をもたらすソリューションの創出を目指してまいります。



「Mixtoria」全体像

「Mixtoria」の特長

1. 安心・安全・快適な移動を支える製品のデータを活用

- ・電動化関連機器、先進運転支援システム、車両制御システム、パワートレイン機器など、安心・安全・快適な移動を支える当社製品から、車両の状態や操作、利用者の状態、周囲の環境などに関するデータを収集・蓄積し、新たなモビリティソリューションの創出に活用

2. 自動車機器開発の知見を生かした、信頼性の高いエッジ・クラウド環境

- ・長年にわたり、高い品質と安全性が求められる自動車機器の開発に取り組んできた経験を生かし、その考え方をエッジからクラウドまでの設計・運用に導入。信頼性の高いモビリティデータ活用環境の構築を進め、モビリティ制御を伴うソリューション創出を推進
- ・オントロジー^{※1}による製品や技術に関する知識の体系化に向けた検証を開始。AIによるデータ分析への活用を進めることで、自動車機器開発の知見を生かしたサービスの開発・運用を目指す

3. モビリティデータを守るセキュリティとプライバシー管理

- ・ISO/IEC 27001(情報セキュリティマネジメント)、ISO/IEC 27017(クラウドセキュリティ)、ISO/IEC 27701(プライバシー情報管理)の認証取得に向けた取り組みを進め、モビリティデータを適切に管理し、共創パートナーが安心して活用できる環境を順次整備

4. 三菱電機グループの幅広い事業領域との連携

- ・三菱電機株式会社のデジタル基盤「Serendie^{®※2}」との接続により、「Mixtoria」で収集、分析したモビリティ領域のデータや知見と、ビル・社会インフラをはじめとする三菱電機グループの各事業領域のデータや知見を掛け合わせ、電動車両の蓄電能力を活用したエネルギーマネジメントなど、事業領域を横断したサービスの検討に繋げ、三菱電機グループにおける新たな価値創出に貢献

今後の予定・将来展望

今後は、当社の各事業部門が保有する製品・コンポーネントの知見を生かし、共創パートナーとともに、「Mixtoria」を活用した具体的なソリューションの企画・検証を進めます。こうした取り組みを通じて、「Mixtoria」を起点に新たな価値を生み出し、豊かなモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

商標関連

Mixtoria	三菱電機モビリティ株式会社の登録商標
	三菱電機モビリティ株式会社の出願中の商標(商願「2026-053239」)
Serendie	三菱電機株式会社の登録商標

お問い合わせ先

三菱電機モビリティ株式会社
経営企画ユニット 経営企画部 コーポレートコミュニケーション戦略課
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
TEL 03-3218-2913
E-mail: qa.melmb@nh.MitsubishiElectric.co.jp

※1 オントロジー：製品、機能、状態、データなどの概念と、それらの意味や関係性を整理・定義した知識体系。データの検索・分析やAIによる推論などに活用される

※2 Serendie：三菱電機株式会社が抱きたい姿として掲げる「循環型 デジタル・エンジニアリング企業」への変革をさらに加速するためのデジタル基盤。Serendipity（偶然の巡り合いがもたらすひらめき）と、Digital Engineering を掛け合わせた造語